

留学だより⑪



ナマステー！AFS でインドのパンジャブ州に留学している井之前です。本格的に留学だよりを書かないと間に合わないということで一日1 留学だよりを目標に作成しています。

1. 祝 2 0 2 5
2. Kasouli 旅行
3. インドではじめて風邪をひく
4. 学校設立記念日

今回はこの四本立てでお送りします！

1. 祝 2 0 2 5

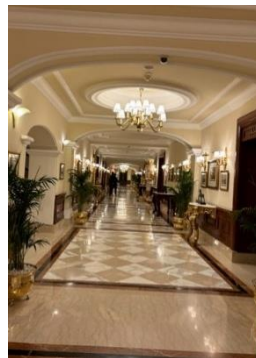
時系列が前後しますが、前回の留学だよりで私の母がインドに来る前に実は海外で初の年越しを迎えていました。

インドのお正月は日本ほど豪華ではないというのが正直なところです。なぜならインドのお正月というのはヒンドゥー教では Diwali(10 月に行われる)、シク教では baisakhi (4 月に行なわれる)なので1 月 1 日は形式上の年越しです。でも、もちろん冬休み期間中なのでみんな帰省して家族全員でお祝いします。

12/29

ホストファミリーとグルガオン(デリーから車で 30 分ほどの都市)に住むいとこの一家のお家に行きました。いとはホストシスターの1 つ下で小学五年生なのですが、人懐っこくて、お正月が終わって家に帰る頃には本当の姉弟のように仲良しになりました。

私の住んでいる町からは車で約4 時間の道のりです。到着するとどうやら先にデリーに来ていたホストファザーと一緒にデリーでも有名な超一流ホテル(日本で言う帝国ホテル)で夜ご飯を食べました。本当に全てが豪華すぎてびっくりでしたが高級なインド料理をたくさん楽しみました。本当に高級で余裕で一人1 万円を超えていそうで、なかなかできない体験でした。そして、何よりもこのホテルのトイレが素晴らしくて、舞踏会ここでもいいんじゃないかレベルで大きかったです。



12/30

デリーで最も大きなモールにホストシスターといとこと一緒に行きました。日本食のレストランに行き、原宿パンケーキをホストシスターが頼みたいというのでオーダーしたところ、ふわふわのスフレパンケーキが出てきました。ヌテラたっぷりふわふわなので、五分もすれば高さ 15 cm はあっただろうパンケーキが跡形もなく消えてしまいました。日本でもなかなか食べられないのでとても記憶に残っています。

12/31

今日は大みそかです。今日はきのうとは違うショッピングモールに行きました。インドでは日本ほど盛大には新年を祝福しませんが、ショッピングモールではいまだにクリスマスツリーがきらめいていて、あちこちで年末セールが行われているようです。インドで有名なおしゃれなレストランに行ったり、ホストシスターとタピオカを食べたり、ショッピングをしたりして楽しみました。

そして、ついに年越しの 0 時が近づいてくるとホストファミリーに急に外に連れ出され、なんだなんだと思っているとマンションの人が集まってインドダンスで新年を祝福していました。もちろん私たちもその中に加わってインドダンスをします。インド式の新年の祝福も日本とは全く違って面白かったです。



2. Kasauli (カソリ) 旅行

1 月 25 日から 26 日までホストファミリーとお友達の 5 家族と kasouli という場所に旅行に行きました。カソーリ (Kasauli) は、インドのヒマーチャル・プラデーシュ州にある小さな丘の町で、標高約 1,900 メートル程にある避暑地です。イギリス植民地時代に作られた町で、古い教会やコロニアル風の建物があり、ハイキングや静かな休暇に人気の場所として有名です。私の住む町からは車で約 3 時間ほどかかりました。

到着するととても大きい宿泊施設でとても驚きました。そのため、どの家族がどの部屋に泊まるかの部屋じゃんけんや、鬼ごっこやかくれんぼをしたりして楽しみました。また、ここは日の出、日の入りの景色がとても綺麗で、山の麓までの景色を一望できます。

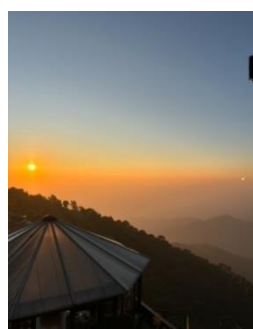
夜ご飯にはBBQをしました。冬の山は寒かったですが、BBQの火で温まりながら美味しい夜ご飯を食べました。ホストファミリーと仲の良い家族の人達が日本にすごい興味を持っていて日本の政治体制についての問題点を聞かれた時はさすがに困りましたが、日本に関して自分の意見をしっかりとつようにならなくてはと思える良いきっかけになりました。



2日目は朝五時から起きてトレッキングが始まります。約20人程でぞろぞろと山道を登り朝日を浴びました。朝の空気は美味しくてインドの自然を存分に楽しみました。道端にデカすぎる松ぼっくりが落ちていて子どもたちで取り合いになりました。かわいい。

朝ごはんを食べたあとはみんなでテレビを見ました。2日目の1/26は共和国記念日でインド憲法が施行され共和国になった日です。そのためインド中がお祝いムードに包まれます。

そうやって国の記念日をみんなで祝うのもインドの良いところだなと思います。インドの自然も堪能でき、忘れられない旅になりました。



3. インドではじめて風邪をひく

インドに行ったというと必ずといっていいほどに聞かれるのが「おなかこわした？」です。実際一か月に一回ペースでおなかはこわしていましたが、恵まれたことに強靱な胃腸であったため熱が出るということはありませんでした。

しかし学校で風邪が大流行した次の週、私ももれなく風邪をひいてしまい、はじめて熱が出ました。日本から持ってきた薬でなんとかかなと思っていたのですが回復の兆しがみえなかったため病院に行くことにしました。病院に行くと、強面のターバンの先生が診察を

してくれます。病状と体温を測っただけで、喉を見ることもなく処方箋を渡されました。そして、処方箋はなんと手書きというまだアナログの時代を生きています。三種類の薬で約 400 円と診察費 500 円でした。保険などという概念はどうやらないようです。薬は親指の爪くらいのサイズがあり、絶対おかしいサイズでしたが風邪を治すためにも頑張って飲み込んでいきます。ホストファミリーが作ってくれたお粥にはしっかりスパイスがもりもり入っていましたが、その後は何事もなく治りました。インドで体調を崩した際は参考にしてみてください。



4,学校設立記念日

2月2日は私の学校の設立記念日だったので、学校でフェスティバルが行われました。1948年に設立され、今年が77周年だそうです。

このフェスティバルの醍醐味は学校を遊園地に仕上げてしまうということ。前日に大量のトラックが学校にやってきて観覧車やミニ機関車などが出来上がります。ほかにも、馬車やリクシャー(トゥクトゥク)、大道芸人などもやってきます。このフェスティバルには生徒だけでなく保護者や地域の人も参加できるため、人でごったがえしています。

学校のフェスティバルの出店のひとつとして料理クラブの人による料理の提供があります。私は日本文化を広める活動のひとつとしてどら焼きを作りました。ヒンディー語訳されている数少ないアニメのひとつとしてドラえもんはインド人全員から愛されています。そのため、友達からのリクエストがダントツで多かったどら焼きを作りました。作ったことがなかったけれど、日本から持参したあんこを使って作りました。でも、みりんが必要だったり、小麦粉の種類が日本のものと違ったりしてどら焼き(もどき)になってしまいましたが、、、。前日に家でミニどら焼きを大量生産し学校に持って行きます。テレビの中でしか見たことがなかったどら焼きが目の前に出てきてみんな大興奮でした。味は初めてにしてはよくできたんじゃないかなと思います。皆さんもインド人へのお土産にはどら焼きがおすすめです。

そして、私は毎年行われる卒業生と生徒のバスケットボール大会のメンバーに選ばれたの

で午前中はずっとバスケットをしていました。卒業生の中にはバスケットの選手として活躍している人や、身長が高い人が選ばれているのでとても強いです。噂によると去年の男子の試合では国の代表にも選ばれた人が卒業生のチームにいたため、150対6で負けてしまったようで今年は男子のバスケットボールは廃止されてクリケットに変更になったそうです。この日のためにチームメンバーで2週間放課後毎日練習していたので、結果は無事勝つことが出来ました。

試合の後は校長先生からのトロフィーの授与と生徒一人ひとりに景品として学校のマグカップと表彰状が授与されます。バスケットボールのチームメイトだけでなく卒業生とも仲良くなれてとてもいい機会になりました。



バスケットボールの試合が終わるといよいよお楽しみの時間です。学校の校庭にズラっと並んだ食事の出店や、生徒による図工作品の販売、ネイルショップ、フェイスペイントショップ、ダーツ、遊園地などが楽しめます。私は友達二人とピザ、モクテル、ホットドッグ、綿あめ、カップケーキを食べました。そしてこんなに食べても500円かからないのがまたすごいなと思いました。

そして皆さんが気になるであろう遊園地。まさかの観覧車は手動なので係のお兄さんが顔を真っ赤にさせながらすごい勢いで回っていて、「怖い」の域を超えてくるのですが、このスリルがたまらないという感じで3回乗りました。馬車は大人気で学校を1周ぐるっと走ることができます。学校も小石川とは比べ物にならないくらい大きいので、馬車でも1周10分程かかりました。

学校でこんなことができていいのかと疑問に思う点がたくさんありましたが、この日だけはスマホを使うことが許されていたので、友達とたくさん写真を撮って、いろいろなアトラクションを楽しめて最高の学園祭でした。

あとかき

留学だより 11 号楽しんでいただけたでしょうか。書きたいことが 10 号に収まりきらず、しまりが悪い感じにはなってしまいましたが、最終号まで見届けていただけると嬉しいです。

16 期 井之前